

「親亡き後等の問題」を構成する現状の問題点

No.	現状の問題点（将来不安を抱く要因）
1	相談支援をするコーディネーターの担い手がない
2	生活の場の選択肢が限られる
3	保護者に代わる人の担い手がない
4	成年後見人の担い手がない
5	経済面
6	「親や家族が障がいのある人の面倒をみる」システムになっている
7	情報の流れが繋がっていない
8	社会が支えるという仕組みがない
9	暮らす経験ができる施設がない
10	障がいのある人を支えるネットワークがない（頼れる人が不足している）
11	障がいのある人に「人に助けをもらう力」がない
12	問題を発見していく仕組みがない
13	親離れ、子離れが安心してできない
14	親が高齢化したときの「親の介護」と「子どもの障がいのケア」とを両立させることの困難